

GenEdit for Machintosh

Editor & Librarian Software for DigiTech GNX1 / GNX2 / Genesis3



Owner's Manual

FERNANDES

株式会社フェルナンデス輸入機器事業部
東京 〒 161-0033 新宿区下落合 2-14-26
大阪 〒 531-0071 大阪市北区中津 6-9-9

TEL:03-3950-8013
TEL:06-6458-2245

はじめに：

GenEdit Version1.0 は DigiTech GNX1 / GNX2 / Genesys3（以後、GeNetX デバイスと記載）を Machintosh 上からリモート・コントロールし、直観的なエディット、ユーザー・プリセットのライブラリー機能、セットアップ状態のバックアップ機能を提供するフリー・ソフトウェアです。

本ソフトウェアを利用して GeNetX デバイスをコントロールするためには、Mac OS 8.6 以上が動作する Machintosh の他に、MIDI インターフェイスが必要となります。

GenEdit インストールの準備：

- GenEdit は Mac OS 8.6 以上で動作します。Mac OS 8.5x 以前の OS では動作しませんので、Mac OS 8.5x 以前の OS をご利用の方は OS をアップグレードする必要があります。
- GenEdit は最新の JAVA 実行環境 (MRJ 2.2) を必要とします。Mac OS 9.1 には MRJ 2.2 が含まれていますが、それ以前の OS をご利用の場合 MRJ 2.2 へアップデート必要があります。MRJ 2.2 のアップデート・ファイルは <http://www.apple.co.jp/ftp-info/index.html> から入手してください。
- GenEdit は MIDI 機器を制御するために OMS 2.3.x を必要とします。OMS 2.3.x は <http://www.opcode.com/> から入手してください。

GenEdit のインストール：

- ① ダウンロード、あるいは CD-ROM に収録された “GenEdit Installer 1.x” をダブルクリックして実行します。



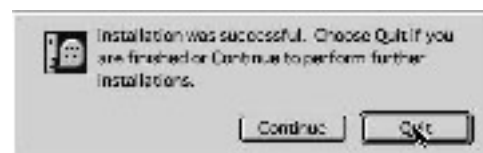
- ② Installer Maker のオープニング画面が現れるので、“Continue” をクリックします。



- ③ GenEdit ソフトウェアのインストール先指定ダイアログが表示されます。任意のロケーションを指定して“選択”をクリックします。



- ④ インストールの正常完了を示すダイアログ表示されます。“Quit” をクリックします。



これでインストール作業は完了です。

GenEdit の起動準備：

- GenEdit は Mac OS 9.1 で最適に動作するようにデザインされています。可能であれば OS を Mac OS 9.1 へアップグレードしてください。
- GenEdit を Mac OS 8.6.x でご利用になるためには、最新の JAVA 実行環境 (MRJ 2.2 以上) を必要とします。MRJ 2.2.x のアップデート・ファイルを <http://www.apple.co.jp/ftp-info/index.html> から入手し、アップデートしてください。
- GenEdit は Mac OS 8.5.x 以下では動作しません。Mac OS 8.6 以上へアップグレードしてください。
- GenEdit は MIDI 機器を制御するために OMS 2.3.x を必要とします。OMS 2.3.x を <http://www.opcode.com/> から入手し、インストールしてください。
- GenEdit は Machintosh から MIDI 機器を制御するための MIDI インターフェイスを必要とします。MIDI インターフェイスを新規購入される場合には、弊社ホームページ <http://www.fernandes.co.jp/effects/GNX1/GNX1.html> に動作確認済 MIDI インターフェイスを記載していますので参照ください。
- Machintosh および MIDI インターフェイスをそれぞれのマニュアルを参照して正しくセットアップし、可能であれば動作確認を行ってください。
- MIDI インターフェイスの MIDI アウトと GeNetX デバイスの MIDI イン、MIDI インターフェイスの MIDI インと GeNetX デバイスの MIDI アウトを直接接続します。MIDI インターフェイスと GeNetX デバイスは直接接続してください。他の MIDI 機器が挿入されている場合正常に動作しないことがあります。

GenEdit の起動：

- ① インストールした GenEdit フォルダを開き、“GenEdit” アイコンをダブルクリックして GenEdit を起動させます。



- ② GenEdit の起動中には右の画面が表示されます。GenEdit の起動には一般のアプリケーションに比べて多くの時間がかかります (PowerMacG4/450 で 30 秒程度)。



- ③ GenEdit が正常に起動すると次ページの画面が表示されます。

- ④ もしも、GenEdit の起動途中に右の警告ダイアログが表示された場合、GeNetX デバイスのファームウェア (システムソフトウェア) のバージョンが低く、GenEdit を利用することができません。



この表示が現れた場合には“了解”をクリックして起動を再開し、一度起動させてから“ファームウェアのアップデート”項目を参照して、ファームウェアのアップデートを行ってください。

- ⑤ もしも、右のようなダイアログが表示された場合、MIDI シグナルの通信に失敗しています。MIDI の配線、ケーブル、OMS の設定、MIDI インターフェイスの動作チェックを行ってください。

問題が解決したら、メニューの GeNetX → ReSync を実行してください。

再度警告ダイアログが出て問題が解決できない場合は弊社 support@fernandes.co.jp までお問い合わせください。



GenEdit の操作

GenEdit が正常に指導すると以下の画面が表示されます。

GenEdit は起動中に接続された GeNetX デバイスのモデルを自動的に判別し、GeNetX デバイスのメモリーと同期を行います。



GenEdit の画面は 3 つのウィンドウに分かれています。

- ① GeNetX デバイス・プリセット・ウィンドウ
画面の左端ウィンドウは GeNetX デバイスのメモリーに保存されているプリセット・ネームを表示します。
- ② ユーザー・ファイル・ウィンドウ
ユーザーが保存したデータ・ファイルを表示します。
- ③ エディット・ウィンドウ
エディット・ウィンドウは GeNetX デバイスのサウンド・エディットを行うウィンドウです。エディット・ウィンドウはさらに 4 つのウィンドウに分割されており (GeNetX アンプ・モデリング・エディット / エフェクト・エディット / エクスプレッション・アサイン・エディット / オプション)、それらはウィンドウ上部のタブによって切り替えることができます。

GeNetX デバイス・プリセット・ウィンドウ：

このウィンドウには、GeNetX デバイスのメモリーに保存されたプリセット・ネームを表示します。このウィンドウに表示されたプリセット・ネームをクリックすると、GeNetX デバイスのプリセットを変更し、同時にプリセットのセッティングをエディット・ウィンドウに反映させます。プリセットのセッティング情報を GenEdit に取り込むため、クリックしてからすべてのジョブが終了するまでいくぶんのタイムラグがあります。

ユーザー・ファイル・ウィンドウ：

指定されたフォルダに保存されたファイルを表示します。ここに表示されたファイル・ネームをクリックすることで、セッティング・データを GeNetX デバイスに転送します。このウィンドウにリストを表示させるためには、以下のディレクトリにファイルを保存する必要があります。

GenEdit フォルダ -

GeNetX Library フォルダ -

Backups フォルダ (バックアップ・データ格納)

Amp & Cabs フォルダ (ハイパーモデル・データ格納)

Presets フォルダ (プリセット・データ格納)

このウィンドウに表示されたリストからファイルを GenEdit から消すことはできません。上記フォルダからファイルを移動させてください。

エディット・ウィンドウ：

エディット・ウィンドウ上部のタブをクリックすることで、以下の4つのウィンドウを切り替えて GeNetX デバイスのセッティングを変更できます。

GeNetX アンプモデリング・エディット・ウィンドウ

“GeNetX” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。アンプ関連のすべてのパラメーターが表示され、マウスの操作だけでサウンドを修正できます。

Effects エディット・ウィンドウ

“Effects” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。エフェクト関連の全てのパラメーターが表示され、マウスの操作だけでエフェクト・セッティングを修正できます。

Expression Assign エディット・ウィンドウ

“Expression Assign” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。GeNetX デバイスのエクスプレッション・ペダルに割り当てるパラメーターの設定、および内部 LFO に割り当てるパラメータの設定を行います。

Option ウィンドウ

“Option” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。MIDI ポートの選択、再同期、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

GeNetX アンプモデリング・エディット・ウィンドウ：

“GeNetX” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。アンプ関連のすべてのパラメーターが表示され、マウスの操作だけでサウンドを修正できます。

アンプ・モデルおよびキャビネット・モデルはポップアップ・リストになっています。モデル・ネームのエリアをクリックするとリストがポップしますから、マウスを上下させ任意のモデル・ネームを選択し、もう一度クリックします。

ゲインやレベルなどのパラメーターは、ターゲットのノブをクリックしたままマウスを上下させることでパラメーター値が増減します。

アンプの合成は中央のレーダー・ディスプレイのような場所で行います。赤いポイントをマウスでクリックしたまま、マウスを上下左右に動かすことで合成状態が変化します。GenEdit デバイス本体ではアンプとキャビネットを同比率のままでしか制御できなかったのに対し、GenEdit では4つの要素を自由な比率で設定できます。またイエロー・チャンネルの状態のままイコライザーやキャビネット・チューニングをエディットすることが可能です。

GenEdit での操作は瞬時に GenEdit デバイスのセッティングを変更します。従って、GenEdit での変更はすぐにサウンドの変化となってモニターすることができます。また、GenEdit デバイス本体での操作も GenEdit のエディット・ウィンドウに反映されます。

アンプ・チャンネルを切り替えるには、メニューの「GeNetX」-「AMP Channel」から選択します。



Effects エディット・ウィンドウ：

“Effects” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。エフェクト関連の全てのパラメーターが表示され、マウスの操作だけでエフェクト・セッティングを修正できます。

エフェクト・タイプ等のパラメーターはポップアップ・リストになっています。エリアをクリックするとリストがポップしますから、マウスを上下させ任意のタイプを選択し、もう一度クリックします。

スピードやデプスなどのパラメーターは、ターゲットのノブをクリックしたままマウスを上下させることでパラメーター値が増減します。

各エフェクトのオン / オフは、エフェクト・タイプ下のボックスをクリックすることでできます。

GenEdit では、GeNetX デバイス本体では設定変更できないいくつかのパラメーターもエディットできます。

GenEdit での操作は瞬時に GenEdit デバイスのセッティングを変更します。従って、GenEdit での変更はすぐにサウンドの変化となってモニターすることができます。また、GenEdit デバイス本体での操作も GenEdit のエディット・ウィンドウに反映されます。



Expression Assign エディット・ウィンドウ：

“Expression Assign” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。GeNetX デバイスのエクスプレッション・ペダルに割り当てるパラメーターの設定、および内部 LFO に割り当てるパラメータの設定を行います。

Expression 1 ～ 3 は、ポップアップ・リストからアサインするパラメーターを選択し、必要に応じて Min と Max ノブをマウスをクリックしたまま上下に動かして設定します。

LFO 1、2 はポップアップ・リストからアサインするパラメーターを選択し、必要に応じて Speed ノブをマウスをクリックしたまま上下に動かして設定、あるいは Waveform ポップアップ・リストから任意の波形を選択します。



Option ウィンドウ：

“Option” タブをクリックすることで表示されるウィンドウです。MIDI ポートの選択、再同期、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

MIDI In Port および MIDI Out Port のポップアップ・リストから任意のポートを選択できます。利用できる複数の MIDI ポートが存在している場合、このオプションで MIDI ポートを指定することができます。

Resync ボタンをクリックすると、GenEdit が GeNetX デバイスと再同期します。メニューの「GeNetX」-「Resync to GeNetX」でも同様のことが行えます。

Download OS をクリックすると GeNetX デバイスのファームウェア・アップデートを開始します。詳細は“ファームウェアのアップデート”項目を参照して下さい。



GenEdit メニュー

以下は GenEdit の各メニューに関する詳細の記述です。

File Menu

Open :

PC に保存されたプリセット・ファイルをロードします。

Save :

ロードしたプリセット・ファイルへセッティングの変更を上書き保存します。

Save As :

現在のプリセット・セッティングを新規ファイルとして保存します。

Store to Device :

現在のプリセット・セッティングを GeNetX デバイスのメモリー（現在のプリセット・ナンバー）へ上書き保存します。

Store to Device As :

現在のプリセット・セッティングを GeNetX デバイスのメモリー（指定したプリセット・ナンバー）へ保存します。保存するプリセット・ナンバーの選択ポップアップ・メニューと、プリセット・ネームを入力するダイアログが表示されます。プリセット・ネームは半角英数 10 文字まで入力できますが（ライブラリー・ウィンドウには 10 文字すべて表示されます）、本体へは最初の 6 文字（GNX2 は 8 文字）だけが、すべて大文字に変換されセーブされます。

Import :

Export で保存したハイパーアンプ・ファイルをロードします。**Amp/Cabinet** を実行すればアンプとキャビネット両方のセッティング・ファイルを、**Cabinet Only** を実行すればキャビネット・セッティングだけのファイルを、ダイアログで選択したアンプ・チャンネルへロードします

Export :

現在のアンプ・セッティングをハイパーアンプ・ファイルとして Machintosh にセーブします。**Amp/Cabinet** を実行すればアンプとキャビネット両方のセッティング・ファイルを、**Cabinet Only** を実行すればキャビネット・セッティングだけのファイルを、Machintosh にセーブします。



Amp Save :

現在のアンプ・セッティングをハイパーアンプとして本体のメモリーに登録します。保存するハイパーアンプ・ナンバーの選択ポップアップ・メニューと、ハイパーアンプ・ネームを入力するダイアログが表示されます。ハイパーアンプ・ネームは半角英数 10 文字まで入力できますが（アンプ・エディット・ウィンドウには 10 文字すべて表示されます）、本体へは最初の 6 文字（GNX2 は 8 文字）だけが、すべて大文字に変換されセーブされます。

Exit :

GenEdit を終了します。



Device Menu :

Backup Settings :

GeNetX デバイスのすべてのユーザー・データ（V-Switch 感度を除くユーティリティー・セッティングも含む）のバックアップ・ファイルをセーブします。

Restore Settings :

バックアップ・ファイルを GeNetX デバイスへロードします。

Amp Channel :

アンプ・チャンネルを切り替えます。

Resync :

GenEdit と GeNetX デバイスを再同期します。



ファイル拡張子一覧

デバイス・バックアップ・ファイル

GNX1 -> .g1a

GNX2 -> .g2a

genesis3 -> .s3a

プリセット・データ・ファイル

GNX1 -> .g1p

GNX2 -> .g2p

genesis3 -> .s3p

.gac = ハイパーアンプ / キャビネット・データ・ファイル

.gcb = ハイパーキャビネット・データ・ファイル

ファームウェアのアップデート

Option ウィンドウの Download OS を実行すると、GeNetX デバイスのファームウェア（GeNetX デバイスのシステム・ソフトウェア）をアップデートすることができます。最新のファームウェアにアップデートすることによって、GeNetX デバイスをいつでも最新の状態にすることができ、将来追加される新しい機能も利用できるようになります。最新のファームウェアは <http://www.digitech.com/> より入手してください。

GenEdit 起動時に右のダイアログが表示された場合には、ファームウェアのアップデートを行わない限り GenEdit を利用することはできません。ファームウェアのアップデートを行うと GeNetX デバイスのメモリーに保存されているユーザー・セッティングは全て失われます。すでにユーザー・セッティングを保存しており、そのセッティングを失いたくない場合には、下記の手順に従って GeNetX デバイスのバックアップを作成し、アップデート後にバックアップ・データを GeNetX デバイスに戻すことで、アップデート前の状態を保つことができます。



アップデート前にユーザー・データのバックアップを作成する：

「GeNetX」メニューから「Backup GeNetX」を実行します。

ファイル名を入力し、保存先を指定したら、“保存”をクリックします。

GeNetX デバイスのユーザー・データすべてをインポートする作業が始まります。作業には数十秒かかります。

バックアップ・ファイルが保存されたら、ファームウェアのアップロードを実行します。

アップロードの手順は次項を参照してください。

ファームウェアのアップデートが完了したら、「GeNetX」メニューから「Restore Backup」を実行します。

アップロードの手順：

“Options” タブをクリックしウィンドウを替え、“Download OS” ボタンをクリックします。アップデーター・ウィンドウが表示されます

“Select device type” ポップアップメニューから製品を選択します。通常は接続されているデバイス名が自動認識されています。

“Browse” ボタンをクリックします。アップデート・ファイルを選択するダイアログが表示されます。

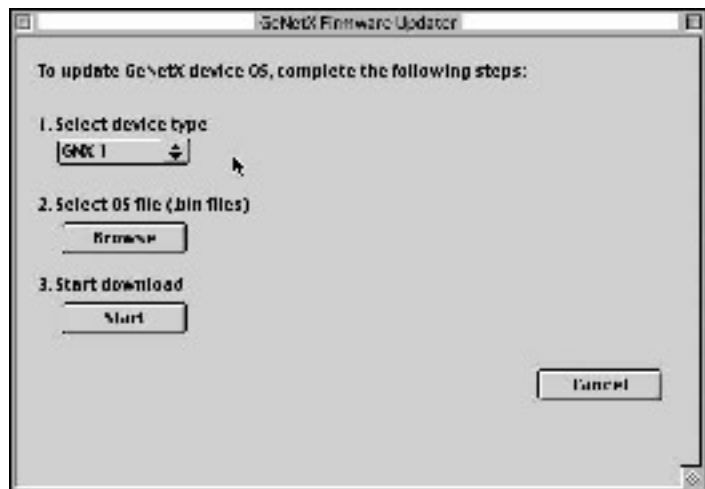
アップデート・ファイルは「GenEdit フォルダ」- 「OS Update フォルダ」に収録されています。アップデートを行うデバイス名のファイルを選択し“開く”をクリックします。

再び、アップデーター・ウィンドウに戻ります。

アップデートを実行するため“Start” ボタンをクリックします。

プログレス・ウィンドウが表示されアップデートの進行状態が示されます。このウィンドウが消えるとアップデートは完了です。

デバイスとの同期を最新状態にするため、“Resync” ボタンをクリックします。同期が完了すればすべての作業は終了です。



トラブルシューティング

GenEdit が起動しない

オペレーティング・システムが Mac OS 9.1 、あるいは Mac OS 8.6 以上で MRJ2.2 以上がインストールされていますか？

デバイスを認識しない

OMS 2.3.x がインストールされていますか？

OMS のセットアップは正しいですか？

MIDI のセットアップは正しいですか？

FireWire タイプの MIDI インターフェイスには現在対応しておりません。

MIDI インターフェイスによっては GenEdit を利用するスペックを満たしていないものがあります。弊社までお問い合わせください。

USB タイプの MIDI インターフェイスは Machintosh 本体のポートへ接続してください。マルチポートハブ利用の場合には動作しないことがあります。

MIDI コミュニケーションエラーが発生する

FireWire タイプの MIDI インターフェイスには現在対応しておりません。

MIDI インターフェイスによっては GenEdit を利用するスペックを満たしていないものがあります。弊社までお問い合わせください。

USB タイプの MIDI インターフェイスは Machintosh 本体のポートへ接続してください。マルチポートハブ利用の場合には正常に動作しないことがあります。

OMS を除く Mac OS 標準以外の拡張機能やコントロールパネルをシステムから外してください。

ポップアップリストが上下にスクロールしない

Machintosh の一部のモデルではポップアップリストが上下にスクロールせず、表示されていないオプションを選択することができない症状を確認しております。この場合、一旦目的のアイテムに近いものを選択してから、もう一度ポップアップリストを表示させることによって、目的のアイテムが表示されるようになります。